

山行報告

■お月見 扇ノ山 ススキの原でテント泊 皆既月食観月の宴

- 日 程：11月8日(火)～9日(水)
- 参加者：L佐々木 SL高島 小田 笹木 島谷 田羅間
徳本 野村
- 行動記録：

(8日)ひめじ別所9:00発—じねんあん(昼食)
(11:30着)12:50発—上山高原(14:40着)
・テント設営15:30

(9日)上山高原8:45発—河合谷登山口(9:00着)9:15発—小ズッコ9:50～
大ズッコ10:30～扇ノ山山頂(昼食)(11:05着)11:45発—大ズッコ12:10～
小ズッコ12:40～河合谷登山口(13:00着)13:20発—加藤文太郎記念図書館
(14:40着)(解散)15:30発—ひめじ別所(17:45着)



◆扇ノ山(上山高原)で皆既月食を満喫!

小田

「ススキ野原でテント泊皆既月食観月の宴」の案内に一生の良い思い出になると心惹かれ申込んだが、キャンセル待ちだったのでほぼ諦めていたが、欠員が有り参加出来るようになった。嬉しさ半分、経験したことの無い11月中旬の標高900mの寒いテント泊。熊がでるかも?心配と不安が大きくなってきた。寒さ対策を十分にしてお発。

あさごSAで2台の車が合流して、8名でリーダーがランチを予約して下さったピザ屋さんを目指す。ポツンと一軒家に行くような片側が切り落ちた道幅が狭い山道をどんどん山奥に上って行く。こんな所にお店があるのかと心配になった。標高500mの山上の粗岡(けびおか)という集落に古民家をリノベーションした山村の石窯ピッツェリア「JINEN AN」にたどり着いた。おしゃれなお店で自家野菜や里山の山菜やジビエなど食材を石窯で焼いた本格的なピザは大変美味しかった。こんな素敵なお店を見つけてくれたリーダーありがとうございました。女性達は大満足で旅行のような気分でした。朝快晴だったお天気が天気予報通り、午後から黒い雲が厚くなってきて雨がパラパラ。皆既月食が見られないのではと心配しました。

少し色づきかけた紅葉とススキを見ながら、また細い道を上山高原までドライブ。

上山高原はよく整備されており、早速テント設営のアドバイスをもらいながら、なんとかテント3張り設営完了。夕食は、途中のスーパーで買った餃子を焼き、持参した唐揚げ、お漬物、果物、おやつが並びワインで乾杯して、月見宴の始まりです。東の空がだんだんと少し明るくなってきました。皆既月食始まりの19時過ぎには赤黒っぽい幻想的なお月さんが見えました。みんな手拍子で「♪♪出た出た月がまるいまるいまんまるい盆のような月が・・・♪」と歌い始めました。でも曇り空のため、すぐに雲に隠れてしまいました。時々雲の切れ間からお月さんが出てくるたびに童心に戻ったように歌と手拍子で大はしゃぎ。みんなとってもいい笑顔をし

ていました。そして曇り空から一変して輝く満天の星空となり天の川も見ることが出来ました。少しの間だったけれど最高に美しく満足。寝転がってお月さんを見たらまた違って見えるんじゃない？ってことになり、ブルーシートを広げてみんなシュラフに入って「綺麗ね！綺麗ね！」って大満喫。でも、夜露でシュラフが湿ってきたので、慌ててテントや避難小屋で寝ることになりました。私は、テント泊はこれで最後だと思うので、テントで寝る方を選択し、皆既月食が終わり黄色く輝き、少しずつ満月に戻っていく様子を外で最後まで眺めていました。風も無くそんなに寒くなかったのが良かったです。テントの中も月あかりで怖くなかったです。今回の月食は天王星食も同時に起き 442 年ぶりの珍しい天体ショーという日に山の上で見られるなんて幸せでした。



2 日目好天に恵まれ、河合谷登山口から扇ノ山頂上を目指しました。ブナ林の黄葉を楽しみにしていましたが、落葉となっており残念でしたが、落葉のじゅうたんをザクザクと音をたてて歩き、幹のまだら模様が連なった美しいブナ林を見ながら気持ちよく楽しく歩きました。

扇ノ山は、過去 2 回新緑の季節と黄葉の頃に来ましたが、それぞれの季節で味わいがあり楽しめるので、また行ってみたいです。

帰路に加藤文太郎記念図書館に寄ってから

解散しました。今回初めて観月会に参加させていただき、とても楽しく幸せな時を過ごすことが出来て良い思い出づくりが出来ました。リーダーはじめ皆さま大変お世話になり有難うございました。ドライバーの方、安全運転有難うございました。

■黒田城跡～天狗山～妙見山

●日 程：11月12日(土)

●参加者：A班L尾内 SL藤本 天野 生永 上田 臼井 兼澤
B班L森本 SL小田 坂本 敷田 藤原(千) 松本(聡)

●行動記録：駐車場 8:20 発～黒田城址 8:35 発～見張り櫓跡(9:25 着)9:30 発～天狗山(10:20 着)10:30 発～557m地点(昼食)(11:15 着)11:40 発～たわ 11:55 発～妙見山(12:15 着)12:20 発～たわ 12:35 発～荘厳寺(13:25 着)13:45 発～かもめ食堂(13:50 着)14:35 発～駐車場(15:00 着)

◆黒田城・天狗山・妙見山～感想～

兼澤

秋たけなわ。山はよそおい ほほえんで 迎えてくれる・・・そんな期待をいただきつつ集合場所へ・・・道中の朝霧も、きょうの山行へのワクワク感を増長させてくれていたようだ。

8時 集合。

8時30分頃 ストレッチのあと出発。黒田官兵衛にあやかり、「おのおの方、いざ、出陣じゃ！！」とひとりつぶやきながらの第一歩だった。

集合場所の近くに黒田家の屋敷跡「姥ガ懐（うばがふところ）」がある。当地では「黒田官兵衛の生誕地は、この地である」と伝承されている。案内板を見ながら官兵衛が姫路で生まれたという通説との比較に頭をひねった。官兵衛没後に作成された書物の年代を比較すると姫路生誕説よりも当地の方に信ぴょう性がありそうだ。播磨人の私には少し残念な気がするが。

少し登った所に「黒田城跡」の案内板があった。スルーした。

ゲートを開いて山域に入った。朽ちかけた大日如来の祠を左に見ながら歩を進めた。ゆるやかな傾斜が続いていた。手入れが行き届いた杉林に、霧が立ち込め朝日が差し込む様は、一幅の絵のようでところが洗われた。

ところが それからしばらく歩くと急坂が待ち構えていた。さらに、最近に積もったと思われる落葉が足元を不安にした。ズルズルと滑りながらの厳しい「山登り」になった。しかも、バリエーションルート？と思いたくなる程、踏み跡も無くなった。木々に阻まれ周囲の様子も確認できなかった。わずかにあるみちしるべ用のテープに心がなごんだ。

9時25分頃「見張り櫓跡」に到着。小休憩。山はますますきびしくバリエーションルートの様相を呈してきた。足元がおぼつかなくなってきた。



10時15分頃 天狗山（484m）に到着。ピーク上は狭い。四等三角点の石柱の頭をナゼナゼして気持ちをやわらげた。ホッと一息つ

いた。気を取り直してみると・・・ここまで急坂だったけど、木立があったおかげできつい直射日光を受けなかったし、涼しい風も吹いていたので、山登りには絶好のコンディションであったことに気がついた。ありがたい、幸運なことだった。

11時15分頃 ほうほうの体でP557に辿りついた。少し早い昼食となった。疲れの為か？全員、黙々と食べた。そこにも、紅葉は無かった。

11時40分頃 出発。下り坂だ。リックも軽くなり、気持ちに余裕が出てきた。

11時55分頃「たわ」に到着。「たわ」は「たわむ」のことで「そり曲がった状態」とのこと。山では、鞍部、峠のこのようである。納得の地形だった。

妙見山に向かうことになった。道は整備されていて、歩きやすかった。

12時20分頃 妙見山（622m）に到着。山頂には、小さな祠が祀られていた。小休憩の後、ピストンで「たわ」に戻り、ひたすら下山。荘厳寺（しょうごんじ）を目ざした。

約1時間後、荘厳寺に到着。寺名が「荘厳」だから、きっと、そのかもし出す景色や雰囲気圧倒されて、重々しくおごそかな気持ちになるものと信じていた。しかし、目に飛び込んできたのは、ピッカピカの建物だった。ショックだった。

寺の見学等で少し長い目の休憩であった。

出発後すぐのところに「兵庫県指定文化財」の立看板があり、あたりを注意深く見渡すと 苔むした参道、屋根のついた橋、まっすぐに伸びた石の階段などが見られ、往年の隆盛と荘厳さをかいま見ることが出来た。

このお寺で「錦繡の紅葉」を期待していたのだが「まあまあ」だった。残念。

13時45分頃「かもめ食堂」に到着。民家そのままの店だった。農家の庭先での茶話会のような雰囲気、ゆっ〜たりと過ごした。至福のひとつきだった。

15時頃 駐車場に戻り、ストレッチ・ミーティングの後、散会した。

ハイキングとバリエーションを同時に楽しめた山行だった。

今日のすべてに 感謝、感謝。

■鳥取から登る氷ノ山

＜アルプ山行＞

●日 程：11月16日(水)

●参加者：L竹内 SL須増 尾内 三木(悦)

●行動記録：響の森駐車場 8:35 発～仙谷登山口(8:44 着)～ワサビ谷(9:15 着)9:20 発～リフト上部(10:02 着)10:07 発～三の丸(10:54 着)11:00 発～氷ノ山(11:43 着・昼食)12:24 発～氷ノ越(13:15 着)13:25 発～登山口(14:00 着)～響の森駐車場(14:05 着)

◆氷ノ山「鳥取から登る氷ノ山」

須増

11月も中旬のこの日は5時過ぎに家を出て、阿弥陀の三木さんと合流、播但有料を利用して6時20分に待ち合せの竹内さんと合流後に車1台で出発する。7時に宍粟市役所で尾内さんと合流、1台に4人が乗車して氷ノ山の「響きの森駐車場」に向かった。

「三の丸コース」の登山口から「わかさ氷ノ山スキー場」のリフト沿い＝「自然探勝路」を登って行く。暫くすると「仙谷(せんだに)分岐」を通過、パノラマコースのゲレンデ横を登る。両側のゲレンデは草紅葉になっていてこの時期らしい景観を見せる。リフトの椅子も取付られていた。暫く行くと緩斜面になり、三の丸と氷ノ山の山頂が見える。三の丸避難小屋を過ぎるとすぐに三の丸に着いた。ここから氷ノ山の避難小屋は意外に遠くに見える。氷ノ山の山頂に着くと風が強く寒かった。避難小屋の中へ駆け込むようにして入り、昼食を摂った。この日は登山者が少なく混みあうことはなかった。食後に下山を開始。仙谷コースへの分岐は、やはり通行止めになっていた。予定通り、氷ノ越(ひょうのごえ)で駐車場の方へ下った。

数年前に、アルプの雪山山行で氷ノ山山頂から三の丸を目指した時は、一面が白い雪原でつながっており、三の丸がもっと近くに見えたことを覚えている。

今回の山行で前日から気にかかっていたのが天気だった。氷ノ山の頂上1510m付近は、冬にかけては特に風が強く寒いイメージがある。この日の天気図では、低気圧が関東沖に通過した直後で気圧の谷の影響が心配されて、西日本は午前中曇り、後半は時々晴れということだった。頂上付近の気温0～1℃、風速10m/secで登山指数は「C」という予報もあったが、実際には、



朝方は30分程の霧雨で、天気はその後、曇りになった。今回はまだ積雪も降雪もなかった。

登山道の水たまり箇所も少なく、両側が笹のトンネルになっている歩道も広く整備されていて歩き易かった。今回の上り側、三の丸コースは標高1400m付近までの登りは急登もあるが、パーティ人数も4人と少なく気持ちよいペースで歩けた。雨に遭わなかったのは幸いであった。予定時間内に下山できたため、地元の「若桜ゆはら温泉ふれあいの湯」に入浴して帰った。

■秋の苦編山・鬢櫛山を縦走&ピストン

＜女性委員会＞

●日 程：11月19日(土)

●参加者：L高島 SL小田 井上 白井 佐野 苦瓜 松田 三木(知) 村上

●行動記録：JR 英賀保駅北側ロータリー8:00 発～登山口(8:25 着)8:30 発～山崎山(8:40 着)8:45 発～苦編山(9:20 着)9:25 発～井ノ口山(9:45 着)～ハート♥岩(9:47 着)9:55 発～靱取山(10:20 着)10:35 発～鬢櫛山(10:50 着)10:55 発～展望岩(11:00 着)11:30 発～鬢櫛山(11:40 着)～靱取山(11:55 着)～井ノ口山(12:15 着)12:20 発～苦編山(12:50 着)13:05 発～山崎山(13:35 着)13:40 発～本徳寺南の公園♿(13:50 着)14:05 発～JR 英賀保駅北側ロータリー(14:10 着)

◆『しんどかった！楽しかった！苦編山・鬢櫛山縦走』

白井

秋晴れの朝、本徳寺西側から登山開始。最初の階段から、息があがる。1つ目の山崎山に到着した時には体はホカホカ。

なだらかだったり、岩場を登ったりして苦編山、ハート岩のある井ノ口山を経て、今回のワクワクポイントのひとつだった靱取山で、キティちゃん新幹線が山頂から見えた事は、隠れ鉄オタの私にとって充分な“鉄分”補給になりました。

最終目的地、5つ目の鬢櫛山に登頂し、景色の良い場所で昼食。山で頂いたコーヒー、おやつ、充実のレーション美味しかった。

さて、下山…。今まで歩いてきた山々の稜線が続いていて、遠くまで歩いてきたなあ。今度はそれを戻ります。急登・急坂を数回くり返し、途中、緑と黄色の葉っぱの彩りや、上の方

だけ紅く色づいた木々や、ひっそりと咲くのじぎくを見つけたりしながら無事下山。

しんどかったあ！でも楽しかった!!

さあ、次はどの山に登ろう？こうして、私の山行はまだまだ続きそうです。

今回の山行を計画・下見して下さった役員の方々、ご一緒できた皆様、ありがとうございました。



◆『初めてのリーダー山行』

高島

今回初めてリーダーをさせて頂き、大変貴重な体験となりました。終えるまでには、色々ミスもあり、ご迷惑をおかけしたことをお詫び申し上げます。

前日の夜は、眠れないほど緊張して2時間ほどしか寝れませんでした。苫編山の景色は、孫の守りでいつも見ている景色なので、紅葉の進み具合をずっと気にかけていました。

孫と登山口を確認し、階段を上がってみたり、下見でサブリーダーと歩いてみて、これで行けると安心したり。ピストン縦走を歩いてみて、里山でのトレーニングとして中々歩きごたえがありました。姫路西部の近隣の山としてお勧めのコースだと思いました。また季節を変えて、景色を楽しみ、雑木林の中を歩けたらいいなあと思っています。

参加者の皆様が怪我無く、無事に下山して下さったことに胸をなでおろしております。ありがとうございました。

■白旗城と宮本武蔵駅から街道巡り

●日 程：11月20日(日)

●参加者：L森本 SL春本 生永 内海 橋本(万) 藤田 松本(聡)

●行動記録：河野原円心駅 9:15 発～白旗城登山口(9:45 着)～山頂(11:30 着)11:55 発～円心館(13:50 着)14:10 発～河野原円心駅(14:25 着)14:32 発～平福駅(14:50 着)～宮本武蔵決闘場(15:20 着)15:30 発～平福駅(16:30 着)

◆白旗城と宮本武蔵遺跡と平福巡り

橋本(万)

一週間前からの雨予報もどこへやらで朝から良い天気。私の本日山行の目的は智頭鉄道に乗ること、平福の街を歩くこと。リーダーはじめ男性メンバーは山遊会きっての歴史好き揃いで、白旗山の山城の形成過程だの宮本武蔵の産まれた所在を見極めて武蔵の歩いた道を辿りたい、だの往きの電車から話題が絶えなかった。

上郡から智頭線に乗り換え、智頭鉄道1日フリー券はペアで2日間乗り放題2千円。1人千円で行けるらしい。

まずは白旗山の「河野原円心駅」まで2駅目降車。この駅の平日の乗降客数は5人いるか



ないからしい…のどかな駅前で準備体操後、千種川にかかる橋を渡り集落に入る。ここの公民館前で本来なら1年に1度の「白旗城まつり」武者行列が行われる。リーダーはこれを見るためにこの山行を設定されたらしいが今年も中止されたらしく残念無念、次年度に持ち越し。

国指定史跡白旗城跡は赤松円心により築城された難攻不落の名城として、現在も「落ちない城」として駅にも登山口にも合格祈願絵馬がズラリと吊るされている。白旗山(440m)山上は東西

550m南北400mの範囲に土塁や堀切などの遺構があり、築城当時に近い形で残されている。難攻不落の城跡登山はそれ相応の登山道であり予定時間を超えて登頂、下山する。歴史好きのF氏は足に不安を抱えておられたが登頂できたことに大満足の様子だった。諦めていた「円心館」にも電車待ち時間内に寄れた事もラッキーだった。

時間の都合で宮本武蔵駅からの宮本武蔵遺跡巡りは割愛し、平福駅へ。

平福駅は「近畿の駅百選」に認定されている。駅降りるとすぐ後ろに利神城跡が見られ、前の路を真っ直ぐ4分進むと道の駅「宿場町 ひらふく」に到着する。そこからも再度利神城跡、別名「雲突城」を望むことができる。利神城跡にはガイドツアー（弁当付き三千円）とでしか登山できないと聞きU氏は納得できない様子。

因幡街道に沿う町並み「宿場町平福」は連子窓、格子戸の平入りの家々、佐用川の石垣に並ぶ白壁の川屋敷、川座敷、土蔵群・・・と昔ながらの姿で静閑なたたずまいを見せている。その街道を南へ10分程歩くと宮本武蔵の初決闘の場へ着く。ゆっくり平福巡りが楽しめ、予定時間通り本数の少ない智頭鉄道で帰途につく。

帰り車内で「宮本武蔵の遺跡巡りは次回ゆっくりたっぷり巡ろう」とF氏U氏の会話が聞こえてきた。何度も計画書を書き換えてもらったり、予約をとったり断ったり、発車時刻に間に合わなかったり、とアタフタさせてしまったリーダーさんに感謝申し上げます。ありがとうございました。

また珍道中の計画を楽しみにしています。

■書写山・置塩坂から東坂へ

●日 程：11月21日(月)

●参加者：L島谷 SL小田 笹木 敷田 田中(浩) 松田

●行動記録：駐車場 9:00 発～置塩登山口(9:45 着)9:50 発～摩尼殿(10:45 着)11:00 発～頂上～三つの堂～展望所(11:30 着)12:00 発～ロープウェイ山上駅(12:35 着)12:40 発～駐車場(13:20 着)

◆ご褒美いっぱいの書写山登山

松田

前日の雨も止んで、車で集合場所へ近づくとつれ書写山付近の周りの山々にモヤがかかって幻想的な雰囲気集合場所に到着しました。今回はベテラン3名新人3名の6名です。

私は書写山は何度か登ったことがありましたが、置塩登山口からは初めてで、期待と不安がありました。登山口までは知る人を知るような道でした。でも参道は「自然歩道」「西国古道」と立て看板がある通り、自然のままを整備されていて、初心者の私でも歩きやすかったです。周りの木や草も綺麗にされていて、歩きながら景色も楽しめました。また、心配していた雨の後のぬかるみもそれほどなく、1時間ほどで摩尼殿に到着しました。登る前にリーダーから「登るから、今より薄着で、、、」と言われて、1枚脱いだのですが、今の時期に汗もにじんでいました。

初めての参道を通っての摩尼殿。迎えてくれた紅葉が真っ赤で感動しました。摩尼殿で参拝した後に、上から見る紅葉も太陽に照らされて最高でした。歩いて登ったご褒美をたくさんいただきました。みんなで記念写真を撮ってから「頂上へいきます」の声。今まで摩尼殿が山頂と思っていた私は、初めての山頂にドキドキしていました。摩尼殿の裏を通って山頂はすぐに

着きました。371mの頂上からは、置塩城のあった山が見えました。頂上では映画、テレビの撮影をよくしている場所のようでした。その後頂上から3つの堂(上からみるのは初めてでした)を通して、一面もみじの絨毯のある展望台のところで昼食をとりました。紅葉を見ながらの昼食(自前のおにぎり)は最高でした。そこから山頂駅まではなだらかな道で、周りに仏像に見守られながら下りていきました。仁王門ではサザンカの花が見送ってくれました。山頂駅から東坂を下りました。2日目の苦編縦走で筋肉痛の私は、少し痛かったです。筋肉痛はどうしたらいいのかと先輩にたずねると「よく登ること、、、」なるほど、、、。筋肉痛を我慢してくださいと45分。全員無事、出発場所に到着！お疲れ様でした！！



またまたご褒美！敷田さんから、お家で採れた柿をいただきました。ありがとうございます。リーダーから資料送付の時に「書写山は6つの参道があり里の道を入れるともっとある」と教えてもらいました。全部のルートに挑戦してみたいです。少人数でいろいろなお話ができました。ありがとうございます。また、先輩方の高御位(愛)を感じました。展望できる所では必ず「高御位はどこかな？」と話しながら確認されている姿を見て、、私達もそうなるのかな？今年は紅葉狩りを諦めていたのですが、今回このように素晴らしい紅葉狩りができたことが嬉しかったです。新人3人で、完走のご褒美に御座候を食べて帰りました。

■雄鷹台山

<女性委員会>

- 日 程：11月24日(木)
- 参加者：L木村 SL安田 泉 小田 岡田(郁) 香川 笹木 澤田(律) 苦瓜 村上
- 行動記録：坂越駅9:27 発～登山口(9:40 着)～後山(10:38 着)10:50 発
雄鷹台山(11:15 着)11:55 発～下山口(13:00 着)～播州赤穂駅(13:10 着)

◆小鳥(ヤマガラ)と真っ赤なドウダンツツジ

泉

前日の激しい雨は上がり晴天の気持ちの良い朝が明けていた。きっと足元は悪いだろうとスパッツの準備をして参加しましたが使用せず登れました。8:41 姫路発赤穂線で坂越駅までアツと言う間でした。駅前で準備体操をし、砂子登山口まで移動。20℃前後の爽やかな気温であるが太陽が照りつけ暑くなりそうな気配、案の定登山口から上りが続き途中雨で袂り取られ荒れた箇所があり後山でザックを下ろしたら背中が汗で濡れてました。後山の分岐で南に雄鷹台山方面に進み緩やかな整備の行き届いた坂を50分程で雄鷹台山に到着。少し早い昼休憩です。木々の間を頭は白黒、胴体は赤茶色、羽はグレイの可愛い小鳥が飛び交いヤマガラだと教わりました。山頂から少し下った所に東屋があり、周囲の木の枝には巣箱が設けられヤマガラが数羽飛び交いテーブルに止まったり人に慣れてました。Sさんが持ってこられたヒマワリの種を手の平に置きかざしたら親指に止まりヒマワリの種をくわえて飛び去る行動を繰り返し、

素敵な体験をさせていただきました。そこから暫らく下って行くと紅く色づいたドウダンツツジが目に飛び込んできた。真っ赤なドウダンツツジのトンネルに♡綺麗♡と黄色い声を上げ写真を撮り御喋りしながら、最高の笑顔で長く続くトンネルを通り抜けて行きました。一日心弾む楽しい山行でした。計画して下さったリーダーさん皆さんありがとうございました。



■雄鷹台山

- 日 程：11月27日(日)
- 参加者：L砂川(延) SL福原 天野 生永 稲見 大谷 岡田(淳) 岡林 北川 坂本 佐野 春本 吉村
- 行動記録：播州赤穂駅(9:00 着)9:10 発～大師堂(9:20 着)9:25 発～雄鷹台山(10:15 着)～10:30 発～後山(11:00 着)11:05 発～砂子下山口(昼食 12:25 着)13:10 発～小山(13:34 着)～坂越駅(13:45 着)13:55 発～奥藤酒造郷土館(14:30 着)～坂越展望台(14:46 着)15:00 発～JR坂越駅(15:40 着)

◆紅葉の雄鷹台山と坂越のまち並み

岡田(淳)

「満天星(ドウダンツツジ)が見頃」「77歳の女性が毎朝登山で、通算1万日達成」。この山行で初めて知った雄鷹台山の記事が2回も新聞に掲載され、どんな山なんだろう、紅葉はまだ大丈夫かなと山行が楽しみでした。

当日は朝から快晴で絶好の登山日和です。山陽本線の遅延もさほど影響なく、ほぼ予定通りに集合場所の播州赤穂駅から登山口へ。長い石段を登ると大師堂、そこからしばらく急な登りが続きますが、しばらく登ると広く眺めのよい岩場に出て小休止。赤穂の街並みに千種川の河

口とそこから続く穏やかな瀬戸内海、そしてその向こうに小豆島が少し霞んで見えとてもいい気分です。先に休んでおられた方から、「ここから先はそんなにきつくないよ。」と言葉を掛けられ、一安心。

少し先に進むと登山道の両側にドウダンツツジが現れ、鮮やかな紅葉に目も心も奪われます。前方に見えてきた雄鷹台山に目をやれば、赤い線が頂上に向かって続いているのが美しい！途中の「満点星広場」で休憩と記念撮影、道も広場も自然を生かしながらよく手入れされていました。出会った方々も老若男女様々で、中には親子三代のような方たちも。地域の人に親しまれ愛されている山だなと感じました。



登山口からゆっくり歩いて約1時間で標高253メートルの雄鷹台山山頂に到着し、坂越側へと続く後山も過ぎて下山道へ。こちらの道は中小の石がごろごろした広い防火道で、見た目より急な下り、油断すると石ころや落ち葉に足を取られそうです。途中で昼食をとり、さあ下りようというところでこの日最大のハプニング！急だけれど近道をと下山道を変更。ところが少し下りたところでシダのブッシュに突入、踏み場が全く見えない急坂に。それを抜けると今度は棘の鋭い茨の枝や松の枝が目の前に張り出して歩きにくい！最近誰も通っていないと思われ初めての体験でした。ちゃんとした(?)登山道と合流し、無事に後山登山口に下りることができほっとしました。

この日後半のお楽しみは坂越の街並み散策です。古い街並みの中にお洒落なカフェやセレクトショップなどが点在していて思わずキョロキョロ…。まずはみんなで奥藤酒造郷土館へ。山歩き教室で一緒だった奥藤さんのご実家で、郷土館の中を説明をしていただきました。兵庫県で2番目に古い酒蔵だそうです。そこから近道を通って海の見える船岡園までも案内してください、雄鷹台山から見えた坂越湾に浮かぶひょうたんの島が「生島」という原始林の島だと知りました。再び奥藤酒造に戻り、日本酒や粕漬けなどそれぞれにお買い物。行列の出来るお店のソフトクリームで坂越駅までの帰り道を元気に歩くことが出来ました！

一日を通して、青空の下、山からも街からも海を眺めて歩くことができ、心が清々しくなる山行でした。先頭で邪魔になる枝を横に片付け歩きやすくしてくださったリーダー、お忙しい中親切に案内してくださった奥藤さん、本当にありがとうございました。

■毛無山と鎌倉アルプス

- 日程：11月27日(日)～28日(月)
- 参加者：L高島 SL尾内 小田 島谷 徳本 三木(悦)
- 行動記録：

(27日)毛無山登山口 6:45 発～不動の滝(7:35 着)7:40 発～ガレの縁(9:05 着)9:10 発～富士山展望台(10:10 着)10:30 発～南アルプス展望台(10:45 着)10:50 発～毛無山登山

口三角点(10:55 着)11:25 発～毛無山最高点(12:00 着)12:05 発～毛無山三角点(12:20 着)12:25 発～南アルプス展望台(12:35 着)12:45 発～富士山展望台(12:55 着)発～不動の滝(14:50 着)発～毛無山登山口 15:20(着)

(28日)北鎌倉駅10:28 発～建長寺入口(10:45 着)11:13 発～勝上猷展望台(11:35 着)発～大平山(12:25 着)12:50 発～天園(12:57 着)13:05 発～鎌倉宮(13:50 着)13:55 発～鶴岡八幡宮(14:10 着)14:25 発～鎌倉駅(14:35 着)

◆富士宮クーポン利用の毛無山と鎌倉アルプス

高島

今回の山行は、8月の富士山の山行で利用した富士宮市発行のクーポン券が、台風により予定より早く下山したため大量に残り、使用期限が年内までだったので急遽計画案を出した山行でした。そのため、日程的に一般会員様に山行案内と、申し込み受付ができない状況でしたので運営委員の皆様の中で参加者を募らせて頂きました。

富士宮市に宿泊地とする条件で山を探すと、毛無山が案に浮かびました。コースタイムをみると歩行距離7km、歩行時間8時間30分、高低差1121mで早朝に登山出発でないと下山が真っ暗になります。そこで夜行寝台列車を予約する為に、乗車1ヶ月前にチケット取得に走ってもらいましたが、姫路出発組2人のみ購入出来ました。加古川出発組4人は購入出来ず、富士駅前ホテルで前泊する事になりました。

そんなこんなで、11月27日早朝富士駅でサンライズ寝台列車から降りると、そのホームで前泊組と合流して、真っ暗な中、始発電車で富士宮駅にむかいました。

富士宮駅からジャンボタクシーで毛無山登山口まで移動しますが、移動中から雪化粧をした富士山がお目見えしてくれました。登山口近くにある、ふもとつばらキャンプ場には数えきれないほどのお洒落なテントに車を横付けし、富士山の裾野で楽しんでおられました。



6時45分に登山口に入ってから、15時30分の下山まで、ずっと富士山は隠れませんでした。登山道は、高低差約1000mだけあり、ロープの箇所も多く急登でしたが、木々の隙間から富士山が見えるので、何故かしんどさが軽減されました。私は下見もせずにリーダーとして先頭を歩くのが初めてでしたが、前を見ると木々のピンクテープや岩の赤矢印、危険な断崖にはロープが張られ、倒木で間違いやすい道をふさいでくれていたり、とても整備されておられました。まるで、道が「こっちだよ」と言ってくれているようで、急登な道にもかかわらず、登山道が見えることが嬉しかったのです。

稜線まで来ると、今度は富士山の反対側に、木々の隙間から雪化粧をした南アルプスが見えます。そして毛無山の最高点に向かう稜線歩きは、木々の邪魔もなく、どんどん富士山に近づき手を伸ばせば届く？ジャンプし

たら富士山までひとつ飛び?とか感動の関西弁で騒ぎっぱなしで、滞在しておりました。お天気に恵まれ本当に素晴らしい景色で、一般山行でもう一度来てみたい山の候補になりました。

下山では、こんな急な所を登って来たのかと改めて思い、背中に冷や汗をかきながら、慎重に慎重に足を運びました。この山は何級だと思うか皆さんに聞いてみると中級者向きだと意見が一致しました。

翌日の鎌倉アルプス 天園ハイキングコース歩きでは、曇りで本来なら富士山の景色が見える展望台からは何も見えませんでした、誰も何も言わず昨日の富士山を思い描いていました。参加者の皆様には、クーポン消費の為、人数を揃えるので参加頂きました事、お礼申し上げます。それぞれの任務もありがとうございました。有意義な山行になり、とても勉強させて頂けた事に感謝致します。

■大師道から鍋蓋山へ

<ゆっくりズム>

- 日 程：12月3日(土)
- 参加者：A班L藤原(千) SL木村 白井 北川 佐野 澤田(律)
B班L徳本 SL小田 瀧原 福原 本田 田羅間
- 行動記録：元町駅8:35 発～猩々池(10:07 着)10:20 発～縦走路出合(10:45 着)10:47 発～鍋蓋山(11:16 着)11:56 発～修法ヶ原(12:28 着)12:43 発～縦走路出合(12:55 着)～市ヶ原(13:25 着)13:35 発～布引の滝(14:29 着)14:35 発～新神戸駅(14:40 着)

◆鍋蓋山 登頂!

白井

「面白い名前の山やなあ、登ってみたいな」と、思っていた鍋蓋山を山行案内でみつけ、これ絶対行きたい!!と参加。

朝早い集合に不安はあったものの、遊びの為なら早起きできる。

凜とした冬空の下、元町駅を出発し、児童公園でストレッチをして大師道から猩々池・再度山方面を目指す。昨年、長男と再度山に行った時は諏方神社からビーナスブリッジを経て大師道に入りしんどかった思い出があったのですが、今回の神戸山手女子高からのルートは歩き易く、沢沿いの道には紅葉もまだ残っていて綺麗でした。



弘法大師が入唐する時に参詣し、唐から戻った際、無事に帰国できたことを感謝するために、再び(再度)登山したという由来のある再度山の再度越から鍋蓋山へ。

アップダウンも少なく整備された道で途中、神戸の景色も見え 30 分程で鍋蓋山山頂へ。

初めて来た山頂は、景色抜群でお隣の菊水山や、神戸の街から明石海峡大橋も見えました。景色を堪能しながら昼食を摂り下山。

修法ヶ原池のある再度公園、大龍寺、

市ヶ原、そして最後には布引の滝も見ることができて楽しい山行となりました。

今回はゆっくりリズムだったからか、しんどい！という感想はありませんでしたが、長男と大龍寺まで行ったものの登頂できなかった再度山の山頂への道も教えて頂いたので、再び山頂を目指したい。そして、いつの日か六甲山縦走も完歩してみたいです。

私の登りたい!と思う山行を計画して下さったリーダーさん、山行ご一緒させて頂いた皆さん、ありがとうございました。

■高森ボランティアの報告

荘所

- 日 程：11月19日(土)
- 参加者：阿久津 生永 島本 砂川(延) 荘所 春本 藤原(千) 待場 森下
- 集合場所：旧アクア交流館前駐車場・午前9時

当日は旧アクア交流館前の駐車場に集合する。作業場所は旧アクア交流館東側から飯盛山へ上がる登山道の道路際から上部にある高圧線鉄塔までの間の草刈り作業を行った。

飯盛山からの下りで旧アクア交流館側へ降りる際に好く使うルートである。草木がかぶさって歩き難い状態でしたが、歩きやすくなっている。



■22年度 荒井中学校「トライやる野外活動」

砂川(延)

今年のトライやるウィークは予定通り11月7日(月)から11日(金)かけて実施しました。参加生徒は男子ばかり下記の10名でした。

赤尾 有田 菊谷 杉本 戸田 野口 福井 別府 馬渡 陸奥

今年は高砂市内の山を歩くということを前提にして、高砂市内にある山を全て歩きました。例年行っていた、加古川でのナックルフォアとサイクリングは行いませんでした。生徒の間で残念がる声があったようでした。例年のことなのですが生徒の氏名にはフリガナがないと読めない生徒が大半でした。

■11月7日(月) 座学・日程の説明(音楽教室)・午前9時集合

- サポート：佐々木、砂川(延)

午前9時から教室に向き、先ずはお互いに自己紹介を行って、あと4日間の活動予定について地形図を基に行程の説明を行った後、終了しました。

■11月8日(火) 高御位山(1) 荒井中・午前9時集合車乗り合わせて長尾新池駐車場へ

- サポート：上田、砂川(延)、須増、藤原(千)
- 行程：長尾登山口～高御位山～小高御位山～北山登山口～長尾新池駐車場

■ 11月9日(水) 高御位山(2) 荒井中・午前9時集合車乗り合わせて大鳥居駐車場へ

●サポート：上田、砂川(延)、三木(悦)、安田

●行程：鹿島神社大鳥居下駐車場～阿弥陀登山口～豆崎奥山～地徳山～百間岩～鷹ノ巣山～高御位山～長尾新池駐車場

● 11月10日(木) 石の宝殿～竜山 荒井中・午前9時集合

●サポート：砂川(延)、三木(悦)

●行程：荒井中～高砂市総合体育館～ふれあいの郷生石・研修センター～石の宝殿～観濤処～竜山～荒井中学校・総合体育館、生石研修センター、石の宝殿を訪ね施設の説明を受ける。

● 11月11日(金) 山陽電車・荒井駅・午前9時集合：大塩駅へ移動

●サポート：大谷、黒本、砂川(延)、森本

●行程：大塩駅～ひょうたん池～あかりの家～亀岩～一本松山～大塩城跡～馬坂峠～日笠山～曾根神社～山陽：曾根駅～荒井駅

